

開催日時 平成29年7月6日(木) 13:30～

開催場所 生駒市役所 4階 403・404会議室

出席者

(参加者) 久 隆浩氏、大原 暁氏、蓮花 一己氏、竹本 和靖氏、上村 誠氏、  
石川 千明氏、前原 金一氏

(事務局) 坂本市長公室長、坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、  
日高政策企画推進係長、片山政策企画推進課員

【事務局】開会宣告、公室長挨拶、参加者紹介、事務局紹介

以下、発言要旨

1-1-1 保育園の新設・機能評価

【久座長】 待機児童は保育所を新設すれば減るので、そういう点で昨年度は頑張っていた。順調に推移していると思う。

1-1-2 幼稚園の保育機能の充実

(発言なし)

1-1-3 病児保育機能の強化

【久座長】 病児保育の利用者は、多いほうが良いというわけではないので評価しづらい取組ではあるが、制度の周知はどのような方法でしているのか。

【事務局】 市ホームページへの掲載、公立保育園での掲示、新入園時の面接に案内チラシを配布、さらに学童保育の入所説明会でも周知している。

【石川氏】 幼稚園では周知しているのか。私の感覚ではまだまだ知らない人が多いと思う。もっと積極的に周知するべきである。

1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進

【竹本氏】 「赤ちゃんの駅」の利用者は急激に増えている。設置施設については、今後

どのような計画で増やしていく予定をしているのか。

【事務局】 これまでは、公共施設や駅での整備を進めてきた。これらについてはある程度行き渡ったので、今後は民間の施設についても整備を依頼していく予定である。

【久座長】 民間企業は、他社の出方を伺うところがあるので、どこかとっかかりができればどんどん広がる可能性がある。整備済み施設一覧のリストを作るなど依頼の方法を工夫すると良いと思う。

#### 1-2-2 子育て層の交流促進

【蓮花氏】 パパのための子育てイベントは単発で効果を出すのは難しいと思う。企業等とタイアップするなど工夫が必要だと思う。

【事務局】 平成29年度についても継続して取組む。さらに、新しいイベントを実施するなど、裾野を広げていく予定なので、参加者数の数値は延びていく見込みではある。

【久座長】 指標が10人台の数値なので、イベントの内容等によって変動が激しいと思う。

【蓮花氏】 最終の目標参加人数が30人ということなので、指標としては少しもの足りないような気もする。

【石川氏】 実際に街中を見ていると、子育てに参加しているパパが増えており、一昔前とは意識が変わってきていると思う。みっきランドの男性の利用者数をカウントしてはどうだろうか。子育てには参加しているが、セミナーやイベントに参加するまでは至らない層のパパが多数いると思う。みっきランドについては、北コミュニティセンターにも整備されたが、そのことによって子育てサークルの活動場所が減ってしまった。子育てサークルには、北・中・南それぞれに活動場所が必要不可欠である。担当課としては、子育てサークルには活動場所を提供しているとの認識のようだが、子育てサークルとしては、追い出されたという認識を持っており、行政と子育てサークルの間に認識のギャップがあるのが現状である。また、館備品としてプレイマットを整備していただいているが、和室や他のセミナー室では使用料が高額のため、子育てサークルでは使いにくい。

【前原氏】 北部に「はばたきみっき」のような子どもを遊ばせられるスペースを整備したことは評価できるが、そのことによって子育てグループを排除してしまっているのであれば、行政は真剣に対策を検討すべきである。母親同士の輪を積極的に作ろうとしているリーダー的な存在の方々は貴重な存在である。

【石川氏】 ふれあいルームの無料貸出はとてもありがたいが、北部や南部の子育てサークルは遠すぎて使えない。

【久座長】 地域的なバランスを考えて活動場所を確保するべきである。他市では、自治会館を貸し出しているケースもある。

【石川氏】 自治会館を使わせてもらえるかは、自治会によって対応が様々である。子どもが使うことによって、部屋が荒れてしまうことを心配されてしまう。貸してくれても高額だったりもする。

#### 1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化

【前原氏】 新生児・乳児訪問が100%にならないのはどのような事情があるのか。

【事務局】 担当課としては、全件訪問できるようアプローチはしているが、期間中に里帰り出産などで不在だったり、家に訪問されることを嫌がられるケースもある。節目の健診など今後の行政サービスのこともあるので、あまりしつこくお願いして行政に対して嫌悪感を持たれてたくないという事情もある。

【前原氏】 保健所と連携できればスムーズに訪問できるのではないか。ひとりでも訪問できなければ、そこが大きな問題に発展するケースもある。この指標については、97.2%であっても決して評価できるものではないと思う。健診時も含めて会えない人はゼロにしてほしい。

【久座長】 訪問できていない方々の事情を個別に調べるべきである。忙しくて会えないケースもあれば、虐待があり合わせられないケースもある。

【事務局】 担当課では、訪問できていない家庭の個別の理由を把握している。虐待の可能性がある場合は、健康課と子育て支援総合センターで連携して対応することになる。

#### 1-2-4 地域活動への参加機会の創出

【久座長】 施策内容とKPIがずれている。市民活動だけでなく地域活動を測る指標も必要ではないか。市民活動は頑張っているが、地域活動はそうでもない人が多い。生駒市民はパワーのある人が多いので、是非とも地域でも頑張ってもらいたい。また、石川氏の意見にあるとおり、子育てサークルが減少しているのであれば現状を追って行ってほしい。

#### 1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

【蓮花氏】 防犯カメラの設置という取組を刑法犯罪発生件数というKPIで判断するのは、かけ離れすぎていると思う。犯罪の内容も見るべきだと思う。犯罪件数の内訳を補助指標にすることも検討してもらいたい。

【久学長】 犯罪発生件数は全国的に減ってきている。しかしその反面、凶悪犯罪は増えてきており、単に犯罪発生件数が減ったから良いという訳ではない。

【蓮花氏】 警察は、犯罪の内容も含め、あらゆるデータを持っているので行政の取組効果検証にも活用すべきだと思う。

【久座長】 不審者情報や災害情報はツイッター等の新しいツールを活用して情報発信すべきだと思う。

【前原氏】 生駒市はこれまで大きな災害がないので、市民の危機意識が薄いところもある。全国では、災害に見舞われた周辺の他市をバックアップする訓練を実施し、有事にそれが大変活かされたという事例もある。南海トラフ地震発生の可能性もあり、そういう発想の準備も必要なのではないか。

#### 1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進

【久座長】 太陽光発電設置基数のKPIについては、電力自由化によって、把握方法が変わったことを記載すべき。

#### 1-3-3 住宅供給の推進

【久座長】 ホームページでの広報が単なる制度のお知らせになってしまっている。補助金を活用して、実際に行ったリフォームの前後の写真を載せるなど、もっと伝わりやすいよう工夫してほしい。

【大原氏】 単発で終わるものならともかく、継続していくなら広報の方法を検討すべきだと思う。

【蓮花氏】 住宅だけでなく、ゲストハウス等にも活用できれば補助金の利用の幅が広がると思う。

【久座長】 不動産業者的な発想で改善に取り組んでももらいたい。

#### 1-4-1 子育て世帯への経済的支援

【竹本氏】 乳幼児健診の受診率が下がっているのはどのような事情があるのか。

【事務局】 主に、3歳6ヶ月健診において受診率が下がっているが、保育園や幼稚園で既に内科健診を受診している児童が増えていることが要因だと分析している。

#### 2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進

【石川氏】 子育て層の女性の就業機会の拡大とあるが、子連れで利用できるようにしないと、子育て層の利用は促せない。子連れの利用者を他の利用者が見て発想が広がることもある。時間帯ごとに子連れでの利用を許可するなど検討してほしい。

【久座長】 インキュベーションの施設を単なる貸会議室と捉えてはいけない。人が集まることによって、刺激を与えあったりネットワークが生まれるという機能を重視してもらいたい。

【前原氏】 今は過渡期だと思う。近い将来インターネットを駆使して、それぞれの家庭でも仕事ができるようになれば、テレワーク&インキュベーションセンターは人が集まることを重視する施設になるのではないか。

#### 2-2-1 市内産業の活性化

【久座長】 前年の会議でも発言したが、この分野の取組が、子育て支援にどう繋がるのか疑問である。

【事務局】 前回の会議での発言を受けて、設備導入等事業支援補助金のチラシを作成し、そこには設備導入することによって女性の雇用に繋げてほしいといった文言を記載した。

#### 2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成

【久座長】 交流会の参加者数は増えているが、交流会に参加したことがきっかけでネットワークの形成に繋げることが重要である。

#### 2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実

【石川氏】 ベルテラスでのイベントが少なすぎる。立地も雰囲気も良いのでどのように活用するかが大きな課題である。

【久座長】 作るときに活用方法についてワークショップを行ったが、もう一度ワークショップをしても良いと思う。

【前原氏】 利子補給よりも大事なことがあるように思う。リスクマネーが流れる仕組み

を作らないといけない。

【久座長】 起業はハードルが高い。その前段階で融資してもらえるかどうかなどをバンクに相談できる場があると良い。

【事務局】 テレワーク&インキュベーションセンターでのセミナーに公庫の方に講師として入ってもらっていただくコマがある。小さな起業でなかなか銀行の窓口に行けない人にも、気軽に参加してもらえと思う。

【前原氏】 創業者に対して、昔は融資できていたが、今は厳しくなっている。初期投資ができず動けない人が多いのではないか。

【上村氏】 創業に力を入れており、リスクを取って融資している。他市では政策金融公庫の創業資金が利子補給の対象になっているケースがあるが、生駒市では対象になっていない。生駒市用の枠も準備しているが、それを融資してもこの制度は使えない。

【久座長】 創業者が使いやすく、上手く回る仕組みを構築してほしい。周知方法にも工夫が必要。

#### 2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出

(発言なし)

#### 2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出

【前原氏】 介護分野は、学校をたくさん作り、卒業生も多いが、その卒業生が他の仕事に流れてしまっている。

【久座長】 市だけでは難しいので、国や県とうまく連携してもらいたい。

#### 2-4-3 食に関する地域産業の創出

【久座長】 他市では、退職前の55歳くらいの方に対して技術を教え、就農者を増やしている事例もある。

【石川氏】 農業は地域の方々と協力することも必要である。

【大原氏】 特産品といえるものを安定供給することも課題のひとつである。

【前原氏】 工夫次第で色々なことができると思う。アライグマを食用している地域もある。

### 3-1-1 イベントの開催

(発言者なし)

### 3-1-2 文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出

【久座長】 スポーツイベントの参加者が減っているのはなぜか。

【事務局】 総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者の自主事業など、市民がスポーツと触れ合う機会が増えており、全体的にスポーツをする人は増えているが、市主催のスポーツイベントとしては参加者が減っている。

【久座長】 理由を記載したほうが良い。

### 3-1-3 教育環境の充実

【蓮花氏】 司書の配置の取組が直接KPIに結びつかない。

【久座長】 取組からKPIがかけ離れすぎている。補助指標があっても良い。また、他市では、思い切って蔵書を減らしてレイアウトを良くすることにより、立ち寄りたくなる空間をつくり、効果が出ている事例もある。

【石川氏】 学校の図書館に司書を配置してから、貸出冊数が大幅に増えたという話を聞いたことがある。司書配置は大きな効果があると思う。

【前原氏】 生駒市出身の世界で活躍する人を紹介することは、次世代の教育にとっても効果があるので、是非実施してほしい。

### 3-1-4 協働による魅力創造

(発言なし)

### 3-2-1 まちの魅力発信

【事務局】 KPIに現れては不在だが、IKOMA SUN FESTAや電子母子手帳など様々な取組を行っている。

【石川氏】 電子母子手帳は、継続した取組を期待する。データの保存を各端末に委ねるのではなく、クラウド化することも検討してほしい。その際、個人情報なのでデータの取扱いには注意が必要。

### 3-2-2 観光振興や広域交流の促進

【久座長】 市内からの来訪者数を伸ばすことが、生駒市にとっては近道だと思う。

#### 基本目標1 「子育てしやすいまち」

【石川氏】 KPIについて、郵送調査とWEB調査が入り混じっているので、判断が難しいところではある。

#### 基本目標2 「母親が希望のしごとをできるまち」

(発言なし)

#### 基本目標3 「子育て層（特に女性）が転入したいまち」

【事務局】 奈良市からの転入者が減少傾向にある。

【石川氏】 シネアドを奈良県内でも放映してはどうか。とても評判が良い。生駒市に引越してきて良かったという声を各世代集めるのも良いと思う。

【久座長】 ありがとうございます。それでは、これで各項目の検証を終わらせていただきます。

【事務局】 今後の進行管理手順等説明、閉会宣告。